

卒業生の歩み

活けるキリスト守山一麦教会

牧師

山内 とく子

教職志願者コース

2012年卒業



趣味の盆栽
椿（白芯ト伴）

私は、2012年3月に教職志願者コースを卒業しました。その時私は63歳でした。それから一麦の群れの規定により、一年間の伝道師補、三年間の伝道師を経て、2016年5月に一麦の群れの正教師の按手を受けました。その時私は67歳でした。どうして高齢になって・・・と疑問を持たれるでしょう。

一番驚いているのは私自身です。私の人生設計は、60歳で公務員を退職すると、大学教員を10年ほどやって、その間に研修を兼ねて海外旅行をし、その後は温泉巡りをして、礼拝はきちんと守り、出来る範囲で奉仕をして、穏やか信徒生活を送ることとと思っていました。

ところが、2001年9月に前牧師が急逝され、十人足らずの教会は大混乱となりました。単立の少人数の教会では、後任の牧師は見つかりません。教会をたたんで、全員最寄りの教会に転会するという提案が役員から出されると、まるで孤児のようだと言きながら祈る信徒や、人の手助けが必要な障害者の両親を連れて他教会に移り、肩身の狭い思いをするなら、教会から離れるしかないという信徒もいました。

じゃあ行けるところまで行こうということで、毎週、次の礼拝をどう乗り切るかという相談をしながら、半年過ぎた頃、東海聖書神学塾のことを知り、必要に迫られて聴講生から始めて、信徒奉仕者コース、教職志願者コースに押し出されました。17歳で受洗して、信仰暦は長いけれど、節目だけ多くて、中は空っぽのタケノコ信者であった私は、始めて正面から聖書に向きあい、祈りの生活へと導かれました。牧師になって10年、どれだけイエス様の御姿を見ただろうか・・・、主が愛された教会を建て上げる事が出来ただろうか・・・。そんな孤独な思いに捕らわれるときに、かつて一緒に学んだ塾生たちとの卒業後の交わりには、大いに慰められ、励まされました。また、神学塾で教えて頂いた先生方には、礼拝や伝道集会、信徒の学び会に奉仕に来ていただき、支えていただきました。

心がけていたことは、信徒の一人一人が自立すること（大人の信仰者）、後継者が与えられること、「主が愛されたものを、愛する」事が出来る牧会者となることでした。三つ目のことは人によっては何でもないことですが、自己的、功利的な私には、主イエスから委託された人々を、自分自身のように愛することは非常に難しいことでした。

献身するとは、単に礼拝や教会を運営するだけではなく、私自身の人格の一新を迫られ続けることでした。主イエスの憐れみと恵みによって、宣教の列に加えていただいている恵みを深く感謝する日々です。

思いがけない主の導きによって、来年4月に後任の牧師が与えられ、主イエスからの最大の贈り物だと思いました。何故なら、主イエスからお預かりした一タラントを、他に預けることによって利子を生むからです。あ！退任するものではありません。主イエスがもういいと言われるまで教会に仕えるのが一麦の群れなので、これからも出没しますのでよろしく願いいたします。

2025年度 東海聖書神学塾 5月会計報告

献金者ご芳名

「東海聖書神学塾は、この地域の諸教会の支えの中で、諸教会に仕えて参ります。2025年春の会計も必要が満たされ、働きが継続されています。皆様のお祈りとお支えに心から感謝いたします。」

塾長 末松隆太郎

教会

愛知泉キリスト教会 芥見キリスト教会
 活けるキリスト一麦教会、一宮福音教会
 活けるキリスト守山一麦教会
 稲沢キリスト教会 岩倉キリスト教会
 インマヌエル綜合伝道団名古屋基督教会
 インマヌエル豊田キリスト教会
 岡崎キリスト教会、笠松キリスト教会
 海津キリスト教会、春日井福音自由教会
 可児キリスト教会 刈谷知立キリスト教会
 蒲郡キリスト教会、岐阜キリスト教会
 名古屋グローリアスチャペル
 信愛キリスト教会、栄聖書教会、
 高知一粒の麦キリスト教会
 知多のぞみキリスト教会、志賀キリスト教会
 千種キリスト教会、豊橋ホサナキリスト教会
 祖父江キリスト教会、天白キリスト教会
 津バプテスト教会、津ヶ丘キリスト教会
 同盟福音名古屋キリスト教会
 同盟福音基督教会、名古屋西福音自由教会
 名古屋猪子石キリスト教会、
 羽島キリスト教会、名古屋福音自由教会
 名古屋守山キリスト教会、虹ヶ丘聖書教会
 久居聖書教会、長良キリスト教会、
 松阪コミュニティチャーチ
 緑バプテストキリスト教会、名古屋朝栴会
 日本同盟基督教団東海西宣教区オリープの会
 (株)さいわい企画

個人

湯澤英房、兼田美幸、鴨下民子
 岡江保和、加藤直樹、後藤愛子
 尾垣はまな、鴨下実枝、佐藤雄一
 山下義幸、山内幸子、梶寛希
 城島俊昭、平澤千絵、星野康孝
 村木智恵子、三輪真義、山田美穂
 東賢作、菅家容子、高山清和
 田中道子、加藤愛、野々垣晶子
 古川秀昭、鴨下彌、早川基貴
 李賢珠、中村忍、山内とく子
 森澤沙織、柴田英樹、久米健夫
 太田満、小坂橋秀行 (敬称略)

I 収入の部

5月末(5/31)現在

	摘要	2025年度収入予算	2025年度5月収入	2025年度収入累計
1	前月分繰越金	635,438	1,492,578	635,438
2	教会・団体献金	2,100,000	241,500	892,447
3	個人献金	400,000	0	21,500
4	入塾卒業式献金	100,000	0	0
5	授業料指定献金	2,500,000	254,000	1,916,000
6	塾舎管理オンライン指定献金	300,000	30,000	170,000
7	公開講座献金	100,000	0	0
8	奨学金献金	100,000	0	0
9	CS教師研修会献金	100,000	0	0
10	入塾指定献金	100,000	10,000	130,000
11	運営・奨学金基金解約金	480,000	0	1,080,184
12	その他指定献金	50,000	0	0
13	雑収入	50,000	4,385	42,054
14	合計	7,015,438	2,032,463	4,887,623

II 支出の部

	摘要	2025年度支出予算	2025年度5月支出	2025年度支出累計
A	リフォーム積立金	600,000	0	190,000
B	センター管理基金	360,000	80,000	200,000
C	維持管理費	200,000	12,974	69,383
D	通信費(オンライン含む)	300,000	101,553	134,260
E	事務費	400,000	28,220	198,444
F	講師関係費	2,000,000	0	1,354,055
G	図書費	150,000	10,000	70,000
H	実習研修(リトリート補助)	150,000	0	0
I	公開講座経費	250,000	0	0
J	運営基金積立金	300,000	0	0
K	教師研修費	200,000	0	216,000
L	奨学金基金積立	300,000	0	0
M	什器設備費	700,000	64,094	194,444
N	CS教師研修会経費	200,000	0	0
O	入塾事務広報費	10,000	0	0
P	予備費(奨学金供与)	480,000	0	180,000
Q	総務費/貸付利子	350,000	5,338	91,311
R	雑支出	65,438	120,000	379,442
U	合計	7,015,438	422,179	3,277,339
V	次月繰越金		1,610,284	1,610,284

会計奉仕者 中村京子

教職志願者コース生の現在の歩み



同盟福音基督教会
四日市キリスト教会
加藤 愛

私は2021年度に信徒奉仕者コースに入塾し、2024年度から教職志願者コースに進級し、今年度は専門科2年に進級しました。最初からオンライン受講で入塾したので、専門科の授業もオンラインで受講しています。時々接続の問題などがあつたりしますが、基本的には不自由なく授業が受けられていますし、何よりも仕事をしながらの受講なので、オンラインで受講が出来るのは本当に感謝です。用意して下さる先生方や塾生の皆様に感謝を申し上げつつ、卒業した暁には、東海聖書神学塾初のオンライン専門科卒業生になるのではないのかなと密かに思っております。基本的には「教会を運営していくとはどういうことなのか」という現実的な面と、「自分も含め、信徒の信仰のためには何が必要なのか」という内面的な面の両輪を、どちらも深く学んでいくことが専門科の授業の特徴ではないかなと思っています。ただ、授業で扱われる課題図書や教科書として設定される書物が、絶版だったり高額だったりするので、新学期は金欠になります。塾舎には蔵書があるので、普通はそちらを活用させてもらえるのですが、オンラインでの受講のデメリットはそれらの入手が非常に困難である、ということかもしれません。課題や試験については、先生や授業によって様々です。ひたすらブックレポートを提出するとか、説教原稿を提出するとか、筆記試験とか、様々な方法で行なわれています。PDFで送られてきた試験用紙に、タブレットで手書きで書き込んでメールで返送する、という方法もありますし、それらをプリントアウトして郵送する、または塾舎に持っていくという場合もあります。



現在は卒業論文の内容をなんとなく考え始めている段階ですが、卒業後の進路については、私は特定の教会への派遣等はまだ決まっておられません。と言うのも、本職がオペラ歌手なので、フルタイムで働きつつ舞台に立っているため、ひとつの教会の責任を負うことが時間的に不可能だからです。また現在は、自分が所属している教会の奏楽やオンライン配信などの担当をしていますが、フルタイムの牧師になると、そちらの奉仕者が足りなくなるため、今のところはそちらの進路を考えていません。ですが、伝道コンサートなどでいろいろな教会にお呼び頂くこともあるので、伝道師という形での奉仕をしていくのが、今現在、私が思い描いている卒業後の進路です。卒業後にどのような歩みになるのかは、まだ何も分かりませんが、皆様の祈りのひとつに加えて頂ければ幸いです。



同盟福音基督教会
一宮キリスト教会
野々垣 晶子

今年度専門科3年生です。女性奉仕者コースから学び始め、入塾から卒業まで、必要単位を取得するのに、長くかかってしまいました。(まだ卒業できていませんが)神様、これまで支えてくださった皆様に心より感謝致します。在学期間、育児や、仕事、自分や主人の両親のこと、色々なことがありましたが、神学塾でのみ言葉の学び、先生方や塾生の皆様とのお交わりにいつも励まされ、慰められてきました。また、インターンとして、所属教会や他の教会でご奉仕させて頂く中で、新たな出会いを頂いて、兄弟姉妹のお証しを聞いたり、お交わりをしたりという貴重な経験も頂いております。私は、洗礼後すぐに献身の思いが与えられましたが、自分のような者はふさわしくないとその思いを打ち明けられずに過ごしていました。信仰生活の中で、神様は、私のような、罪深く小さなものをもご自身の御業に用いることがおできになる、憐れみと恵み、力に満ちた方なのだと、神様に対する信頼が増していきました。そして、また、愛する人々との別れを通して救霊の思いが強められました。神学塾で学ぶ道が開かれ、基礎科で卒業し、教会でご奉仕したいと願いましたが、教会の方々に励まされて専門科に進まさせて頂きました。いよいよ神学塾での学びは最終学年となりましたが、学びの入り口に立ったに過ぎないということです。卒業後の進路はまだ明らかではありません。私の小さな力では、何もできませんので、ただ神様にすがり、神様のお力によって、神様、家族、教会の皆様喜んでいただけるご奉仕ができますようにと、祈るばかりです。今後とも、主にある尊いお祈りとお交わりを、どうぞよろしく願いいたします。

「全国『聖徒（信徒）聖書学校』設立プロジェクト」のニュース

「高知聖徒聖書学校」と「京滋聖書学校」の設立が決定しました！

東海聖書神学塾は、2023年9月の第7回日本伝道会議でプロジェクトに採択された「全国各地に『聖徒聖書学校』を設立するプロジェクト」の働きを推進して来ました。そして、4月に、教会の主イエス・キリストの導きによって、「高知聖徒聖書学校」を来年4月に、「京滋聖書学校」を今年10月に設立することが決定しました。この1年6ヶ月の間の皆さんの「全国『聖徒聖書学校』設立プロジェクト」のための忠実な禱援と継続的な支援に心から感謝しています！

† ① 「高知聖徒聖書学校」の設立への第1歩！

来年の4月設立が決定した「高知聖徒聖書学校」の現在の奉仕者は、運営委員5名と教師5名です。「高知聖徒聖書学校」運営委員会は、開校時に「第1期生」となる4人の兄姉を、「東海聖書神学塾」の信徒科のクラスの聴講生として推薦してくださいました。神学塾の運営委員会は「高知聖徒聖書学校」への支援として、塾のクラスを聴講される高知の学生達の聴講料を半額にする決定をしました。

† 今年度「神学塾」のクラスを聴講されている高知の兄姉は下記の4名です。

- (1) 李賢珠（イ・ヒョンジュ） 姉＝「加賀野井キリスト教会」の会員—「エペソ人への手紙」を聴講
- (2) 松本足渡兄＝「加賀野井キリスト教会」の会員—「聖書研究・創世記」を聴講
- (3) 早川基貴兄＝「高知一粒の麦キリスト教会」の会員—「旧約概論」と「創世記」を聴講
- (4) 森澤沙織姉＝「高知一粒の麦キリスト教会」の会員—「基礎カウンセリング」を聴講

† 4名の兄姉が、「高知にある主イエス・キリストの教会の熱心で忠実な奉仕者」として整えられるために、兄姉の神学塾での学びが豊かに祝福されるようにお祈りください。

† ② 「京滋聖書学校」の設立への第1歩！

今年の10月の設立が決定した「京滋聖書学校」の奉仕者は、運営委員5名と教師4名です。

「京滋聖書学校」は、「奨励・説教奉仕者育成コース」（礼拝式での奨励・説教奉仕者、教会学校教師等、聖書のみ言葉を教える奉仕者の育成）をメインコースにすることになっています。

「京滋聖書学校」の設立に向けて、4人の教師が、初年度に、「旧約概論」、「新約概論」、「礼拝論」、「献身者クラス」を担当することを決め、8月末日迄に各担当課目の「授業計画案」を作成することになりました。また、4月の「設立準備委員会」では、「学校の名称」、「授業形態」、「授業日と授業時間」、「カリキュラム」、「授業料（献金）」「教室（京都の教会の集会室を聖書学校の教室として使用する予定）の設備や備品」、「京都と滋賀の地域教会で奉仕しておられる牧師先生方に一例：各地域の牧師会等で『京滋聖書学校』の設立の理念と計画等を説明して禱援と支援のお願いをする」等々について相談しました。

各地の「運営委員会」が全ての必要な準備をして、今年10月に「京滋聖書学校」、来年4月に「高知聖徒聖書学校」を設立することができるように禱援し、支援してください！

「全国『聖徒聖書学校』設立プロジェクト」の「ニュースレター」を希望される方、「プロジェクト」のために支援して下さる方は、下記の小さい者のメールアドレスへ、「ニュースレター希望」、また、「支援献金します」等と記入して、メールをお送りください。よろしくお祈りします。

「東海聖書神学塾『聖徒聖書学校』設立プロジェクト」担当主任・後藤喜良のメールアドレス＝

revpinguinkpg@yahoo.co.jp